

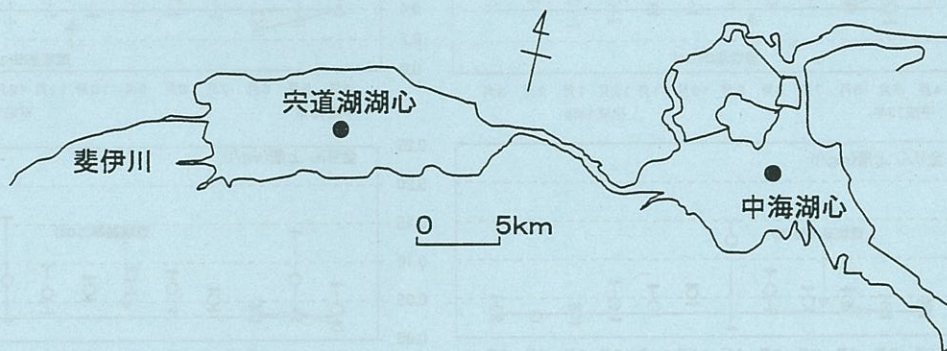
輝水だより (第42号)

【お問い合わせ先】 島根県環境生活部環境政策課

湖沼環境係(電話:0852-22-5562)

平成13年6月の宍道湖・中海の水質状況について、島根県が実施した調査結果の速報値をお知らせします。

1. 調査地点



2. 調査結果





- (1) 宍道湖湖心では、過去5年間(平成8年度～12年度)の同月と比べると、CODは最も低く、全窒素は平均値とほぼ同じで、全りんは平均値より低い濃度でした。
- (2) 中海湖心では、過去5年間の同月と比べると、CODは平均値と同じ濃度で、全窒素は最も低く、全りんは平均値よりやや低い濃度でした。

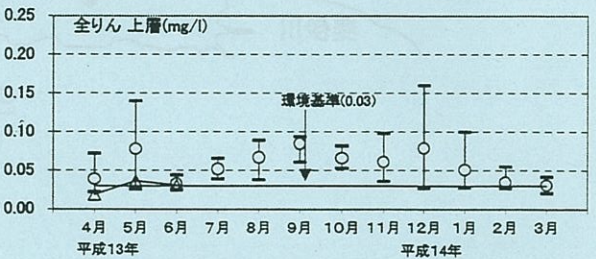
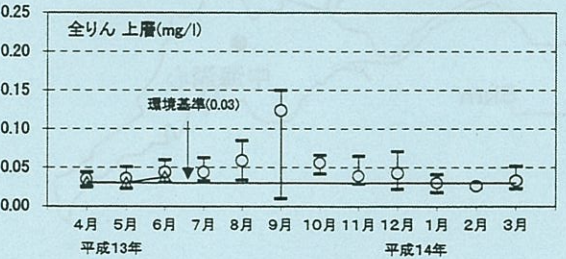
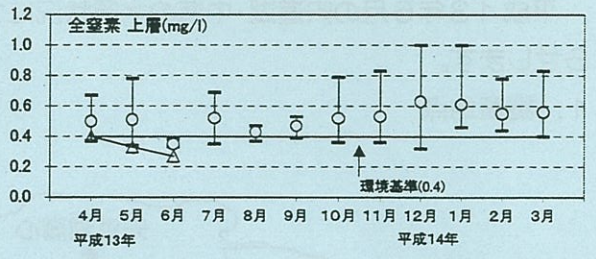
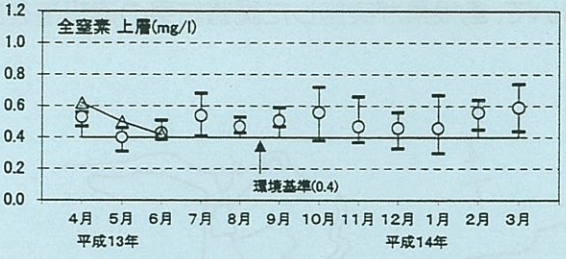
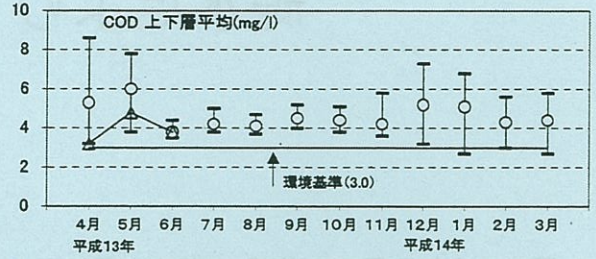
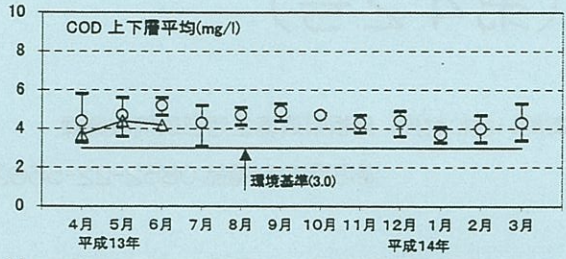
項目	単位	環境基準 (湖沼AⅢ類型)	宍道湖 (湖心)			中海 (湖心)			[参考]*平成12年度平均	
			4月	5月	6月	4月	5月	6月	宍道湖 (湖心)	中海 (湖心)
水温(上層)	℃	—	10.0	16.0	22.3	10.4	17.0	22.6	—	—
pH(上層)	—	6.5～8.5	8.0	8.8	8.0	8.8	8.9	8.2	—	—
COD(全層平均)	mg/l	3以下	3.7	4.4	4.2	3.2	4.8	3.8	4.5	4.9
SS(上層)	mg/l	5以下	3	7	8	3	7	2	5	8
DO(上層)	mg/l	7.5以上	11	13	8.3	11	10	8.0	9.9	10
DO(下層)	mg/l	7.5以上	11	2.0	7.8	1.0	2.5	1.0	7.5	5.4
全窒素(上層)	mg/l	0.4以下	0.62	0.50	0.42	0.40	0.33	0.27	0.54	0.55
全りん(上層)	mg/l	0.03以下	0.031	0.030	0.038	0.019	0.037	0.031	0.042	0.056
Cl(上層)	mg/l	—	1500	1900	2600	7700	7500	10000	2800	9400
Cl(下層)	mg/l	—	1500	3600	2600	16000	13000	16000	3400	13000
クロロフィルa(上層)	μg/l	—	15	26	15	7	12	2.5	22	31

※前回発行の第41号において、測定値の一部に誤植がありました。下記のとおり訂正し、お詫びいたします。

→中海(湖心) 4月の「COD(全層平均)」測定値:(誤)4.4 (正)3.2

*平成12年度公共用水域水質測定結果による。


 過去5年間(平成8年度～平成12年度)の月別最大値

 過去5年間(平成8年度～平成12年度)の月別平均値

 過去5年間(平成8年度～平成12年度)の月別最小値

 平成13年度の測定値



突道湖湖心における各水質の月変動

中海湖心における各水質の月変動

[水質の用語]

- pH 水の酸性、アルカリ性を示します。pHが7のときは中性、これより数値が高い場合は、アルカリ性、低い場合は酸性です。海水は8.2、河川水は7前後です。また、植物プランクトンが大量に発生すると上昇します。
- COD 湖水中の有機物による汚れを示す指標です。数値が大きいほど有機物による汚れが大きいことを示します。
- SS 水中に漂っている「ミヤ」プランクトンの量を示します。
- DO 水に溶けている酸素の量を示します、水に溶け込むことのできる量は温度によって異なり、温度が低いほどよく溶けます。
- 全窒素 水中の窒素の量を示します。全りんと同様にプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- 全りん 水中のりんの量を示します。
- クロロフィル a 植物プランクトンに含まれる葉緑素(クロロフィル a)の量を示します。この量が多いほど、植物プランクトンが多いことを示します。
- Cl 海水の割合を示す指標です。数値が大きいほど海水が多く混合しています。海水の塩素イオン濃度(Cl)は18800mg/lです。